



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場取引所 東 札

上場会社名 株式会社 トーモク

コード番号 3946 URL <http://www.tomoku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 斎藤 英男

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 内野 貢

TEL 03-3213-6811

四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	29,658	3.8	△253	—	△7	—	△207	—
25年3月期第1四半期	28,585	5.7	△558	—	△388	—	△175	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 110百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △616百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△2.22	—
25年3月期第1四半期	△1.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	114,958	47,818	40.2
25年3月期	115,464	48,017	40.2

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 46,214百万円 25年3月期 46,457百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	67,500	5.0	1,700	149.6	1,900	94.2	700	125.9	7.49
通期	153,000	5.3	8,300	22.9	8,500	18.6	4,500	19.6	48.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	96,707,842 株	25年3月期	96,707,842 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	3,227,931 株	25年3月期	3,225,143 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	93,481,334 株	25年3月期1Q	93,500,076 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しました。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、政府が打ち出した金融政策、財政政策等により、公共投資は増加を続けており、住宅投資も持ち直し傾向にあります。個人消費は、株価の回復もあって消費者マインドが改善し、底堅く推移しています。内外需要を反映して鉱工業生産は持ち直しており、求人倍率が改善するなど雇用環境も好転しつつあります。国内需要が引き続き底堅く推移する中で、景気は緩やかに回復しつつあると思われれます。然しながら、欧州債務問題や新興国・資源国経済の動向並びに米国経済の回復ペースなどがわが国経済に大きな影響を与えるものと考えられます。

その中で当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は29,658百万円（前年同期比3.8%増）、経常損失は7百万円（前年同期は経常損失388百万円）、四半期純損失は207百万円（前年同期は四半期純損失175百万円）となりました。

セグメントの業績は次の通りです。

〔段ボール〕

段ボールの需要は、加工食品、青果物などの食品向けや通販・宅配向けが伸びるなど、全体として前年を上回る水準で推移しました。

当社グループの段ボール生産量の伸び率は、需要を上回る水準で推移しました。当社の主力工場である館林工場では前年度末に導入した加工機を加え、加工の月産2,000万㎡体制を敷くとともに物流体制の整備により販売数量の大幅な増加に対応しました。大阪工場では新たに導入した高性能の印刷機の稼働により生産能力の増強と品質面の強化をはかりました。労働環境の面では日本一のホットスポットである館林に防暑対策を行うほか岩槻工場では独身寮をスウェーデンハウス製の寮に建替えました。

段ボールの売上高は20,535百万円（前年同期比1.2%増）となり、営業利益は1,898百万円（前年同期比18.4%増）となりました。

〔住宅〕

住宅においては、被災住宅の再建、金利や地価の先高観、消費税率の引き上げ前の駆け込み需要などを背景に新設住宅着工戸数が前年同期比増加しました。スウェーデンハウスの強みである時流にマッチした省エネ性能をアピールし、紹介受注など販売体制の強化に努めた結果、売上高は3,888百万円（前年同期比27.8%増）、また売上が下半期に集中し上半期はコストが先行するという住宅の特性もあり、営業損失は2,308百万円（前年同期は営業損失2,274百万円）となりました。

〔運輸倉庫〕

運輸倉庫においては、東日本エリアの飲料部門を中心として取扱量が増加しましたが不採算事業の見直し・撤退等を前向きに行い、売上高は5,234百万円（前年同期比0.4%減）、引続き生産性の向上や固定費の圧縮に努めて営業利益は345百万円（前年同期比3.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は現金及び預金の減少などにより前連結会計年度末比505百万円減少し114,958百万円となりました。負債は支払手形及び買掛金の減少などにより前連結会計年度末比306百万円減少の67,140百万円となり、純資産の部は利益剰余金の減少などにより前連結会計年度末比198百万円減少の47,818百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間の業績を踏まえ、第2四半期及び通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月7日に発表いたしました業績予想の達成に引き続き努めてまいりますので、これを変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,575	7,036
受取手形及び売掛金	25,222	26,729
たな卸資産	9,873	12,880
その他	3,974	4,775
貸倒引当金	△33	△58
流動資産合計	54,611	51,363
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,297	15,574
機械装置及び運搬具(純額)	12,353	12,213
土地	18,676	20,180
その他(純額)	1,711	1,875
有形固定資産合計	48,039	49,845
無形固定資産		
454	454	453
投資その他の資産		
投資有価証券	8,303	9,175
その他	4,379	4,450
貸倒引当金	△324	△329
投資その他の資産合計	12,358	13,296
固定資産合計	60,852	63,595
資産合計	115,464	114,958

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,549	13,571
短期借入金	3,206	5,445
1年内返済予定の長期借入金	8,949	8,822
未払法人税等	2,107	431
賞与引当金	1,805	859
その他の引当金	392	309
その他	9,482	12,157
流動負債合計	41,492	41,596
固定負債		
長期借入金	17,566	17,109
退職給付引当金	2,921	2,957
その他の引当金	660	579
その他	4,806	4,896
固定負債合計	25,954	25,544
負債合計	67,446	67,140
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,669	13,669
資本剰余金	11,138	11,138
利益剰余金	21,376	20,888
自己株式	△669	△670
株主資本合計	45,515	45,026
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	903	1,086
繰延ヘッジ損益	190	177
為替換算調整勘定	△152	△76
その他の包括利益累計額合計	941	1,187
少数株主持分	1,560	1,604
純資産合計	48,017	47,818
負債純資産合計	115,464	114,958

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	28,585	29,658
売上原価	23,491	23,992
売上総利益	5,093	5,666
販売費及び一般管理費	5,652	5,919
営業損失(△)	△558	△253
営業外収益		
受取利息及び配当金	67	73
持分法による投資利益	156	128
雑収入	125	159
営業外収益合計	349	361
営業外費用		
支払利息	117	72
固定資産賃貸費用	20	29
雑損失	41	13
営業外費用合計	179	115
経常損失(△)	△388	△7
特別利益		
保険差益	22	—
特別利益合計	22	—
特別損失		
固定資産処分損	36	53
投資有価証券評価損	0	47
減損損失	19	9
その他	1	—
特別損失合計	58	109
税金等調整前四半期純損失(△)	△424	△117
法人税、住民税及び事業税	344	440
法人税等調整額	△494	△421
法人税等合計	△149	19
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△274	△136
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△99	70
四半期純損失(△)	△175	△207

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△274	△136
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△112	179
繰延ヘッジ損益	△135	△12
為替換算調整勘定	△88	76
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	3
その他の包括利益合計	△341	247
四半期包括利益	△616	110
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△505	38
少数株主に係る四半期包括利益	△111	72

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	段ボール	住宅	運輸倉庫	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,283	3,043	5,257	28,585	—	28,585
セグメント間の内部売上高 又は振替高	47	35	815	898	△898	—
計	20,331	3,078	6,073	29,483	△898	28,585
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,602	△2,274	333	△337	△220	△558

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△220百万円には、セグメント間取引消去△16百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△203百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	段ボール	住宅	運輸倉庫	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,535	3,888	5,234	29,658	—	29,658
セグメント間の内部売上高 又は振替高	41	20	858	921	△921	—
計	20,577	3,909	6,093	30,580	△921	29,658
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,898	△2,308	345	△64	△189	△253

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△189百万円には、セグメント間取引消去14百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△203百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。